

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和2年度第3回松阪市総合教育会議
2. 開 催 日 時	令和3年1月22日（金） 15時30分～16時55分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 第2分館 教育委員会室
4. 出席者氏名	出席委員 竹上真人市長、長島彩子教育長職務代理者、岡田光生教育委員、長井雅彦教育委員、谷口雅美教育委員、中田雅喜教育長 事務局 家城企画振興部長、藤木企画振興部経営企画課長、山路経営企画課政策担当主幹、小川経営企画課政策経営係長、鈴木教育委員会事務局長、村田教育委員会事務局次長、中西教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、塩野学校教育課長、尾崎学校支援課長、小泉学校支援課子ども安全・安心担当監、服部学校支援課教育課程係指導主事、西出子ども支援研究センター所長、楠本子ども支援研究センター指導主事
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	2人（内、報道関係2社）
7. 担 当	松阪市企画振興部 経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

・協議事項

- 1) GIGA スクールのデモンストレーション
- 2) 松阪市教育大綱の策定について

◎内容録は別添

令和2年度 第3回松阪市総合教育会議議事録

開催日時：令和3年1月22日（金） 15時30分～16時55分

開催場所：松阪市役所 第2分館 教育委員会室

出席委員：竹上真人市長、中田雅喜教育長、長島彩子教育長職務代理者、岡田光生教育委員、長井雅彦教育委員、谷口雅美教育委員

事務局：家城企画振興部長、藤木企画振興部経営企画課長、山路経営企画課政策担当主幹、小川経営企画課政策経営係長、鈴木教育委員会事務局長、村田教育委員会事務局次長、中西教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、塩野学校教育課長、尾崎学校支援課長、小泉学校支援課子ども安全・安心担当監、服部学校支援課教育課程係指導主事、西出子ども支援研究センター所長、楠本子ども支援研究センター指導主事

傍聴者：2人（内、報道関係2社）

1.GIGA スクールのデモンストレーション

【子ども支援研究センターによるGIGA スクールのデモンストレーション】

事務局)

よろしくお願いします。教育委員会の楠本と申します。4年前まで中学校で理科の教員をしまして、ちょうどそこで一人一台端末を整備していただいたので、いろいろ実践してきました。仲間と共にやってきたことを、47の小中学校でタブレットが配られて、GIGA スクールという名のもとに始めたところです。

今日は、そもそもGIGA スクールとは何なのかということで、前半お話をさせていただいて、その後、実際に端末を使っているクラスの授業がどういうものなのか、体験していただきながら、今日はお時間をいただきたいと思います。

<松阪市GIGA スクール構想の実現に向けて>

- ・LTE モデルの端末（iPad）の導入（三重県内で松阪市のみ）。
- ・16万都市の自治体で、ここまでの規模の端末整備は中々ない。
- ・2011年度に三雲中学校に一人一台約500人の生徒に端末を配布（3年間国の授業として実施）。その後、殿町中学校、飯高中学校にも配布。
- ・36の小学校のパソコン教室における、リース切れデスクトップパソコンのiPadへの更新。
- ・昨年12月、国のGIGA スクール構想の閣議決定。（校舎内の高速大容量の無線

LAN化。一人一台タブレットの配布)

- ・コロナ禍におけるICTの活用の促進。
 - ・一斉学習、個別学習、協働学習の3つの軸でタブレットの活用。

<具体的なGIGAスクールの3つの柱>

- ・整備（各学校、クラスの無線LAN化、一人一台端末）
- ・活用（時間、場所を超えた学び、子どもたちが主語になった学習活動、個別最適化な学び）
- ・先生方の研修（移動時間の短縮、気軽に参加できる）

<タブレットの体験>

- ・小学生の社会科の授業。
- ・松阪今昔物語。松阪市の今（2007年）と昔（1961年）の航空写真の比較。

事務局)

ありがとうございました。

本日は都合により、急遽順番を変更してGIGAスクールのデモを先にさせていただきました。市長も到着されましたので、市長より一言ごあいさつさせていただきます。

市長)

改めまして皆さんこんにちは。遅刻してきまして申し訳ございませんでした。

実は今日は全員協議会が行われまして、1時から2時間半あればと思っておりまして4時までかかってしまいました。何かと言いますと、新型コロナウイルスのワクチン接種の話をご報告させていただいたところで、かなりご質問をいただいたところでございます。いよいよワクチン接種の話をご議論する時期にやってきたということは、どれくらい時間がかかるかまだまだわかりませんが、アフターコロナというものが、遠くに光が見えてきた段階かと思っております。

今日も先ほどGIGAスクールのデモンストレーションをしていただいて、ある意味私は教育革命だと思っております。教育にはどうしても地域格差や所得格差はあると言われておりますが、本当にこれを使って自分で自分の力を伸ばすことができるようになる。それがこの機器のすごいところで、是非とも松阪の子どもが、自分の頭で考えて、筋道を立てて生きていけるような、そんな大人になってくれたら嬉しいと、楠本先生の授業を受けながら、ずっとこういうことをやっていけばそういう子ができるかなと、希望の光を見たところでございます。

後から、教育大綱の策定の話をしていただければと思います。

教育というものは、本当にこんなことを言うては何ですが、GIGAスクールはお金がかかります。僕は良く言いますが、結局はコストパフォーマンスです。投資に見合う効果があるか、そこが一番大事で、道具は用意した、あとは教育関係者の皆様がいかに

にきちんと使って、子どもの学びにつなげていってもらえるか。課せられた課題が大きいのと思っています。中田教育長をはじめ、教育委員会できちんと対応してもらえるとしますので、是非とも頑張ってくださいと思います。きちんと松阪市が子どもたちに教育ができる環境であるか、そういった基本的なところをお話いただくのがこの会議だと思っています。今日も教育大綱の最終案をお示しさせていただきます。これに基づき、いろいろお話をいただきますようよろしくお願いいたします。

【松阪市総合教育会議設置要綱第4条に基づき、竹上市長が議長となり進行】

2.松阪市教育大綱の策定について

市長)

座ったまま失礼します。それでは事項書に沿って会議を進めてまいります。順番が逆になりましたが、松阪市教育大綱の策定についてです。その前に、本日の会議は公開とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは事務局より、松阪市教育大綱の策定について説明をお願いします。

【経営企画課より松阪市教育大綱の最終案について説明】

「1.はじめに」で子どもたちの取り巻く環境、課題、求められている力を、「2.教育大綱策定の趣旨」では、平成26年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正から教育大綱の策定についての流れを、「3.」では、教育大綱の計画期間とその位置づけについて記載。

「4.基本理念」である「夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり」のもと、4つの基本方針を位置づけ、それぞれの基本方針の中に施策を示す構成とした。

改定のポイントは、「新型コロナウイルス感染症に関わる対応」、「幼児教育・子育て支援の充実」、「ICTの活用」の3つ。

「5.基本方針」は、

1. 一人ひとりの個性を大切にし、意欲的に未来を切り拓く子どもを育てます
2. ふるさと・松阪に誇りをもち、豊かな心と自主性や社会性を備えた子どもを育てます
3. 夢と希望をもち、可能性を最大限に発揮できる教育環境の整備をめざします
4. スポーツや文化の振興を図るとともに、誰もがいつまでも学び、活躍できる環境づくりに努めます

この4つの基本方針に各教育施策での取組を示し「6.全体構想」とした。

現在改定を進めている「松阪市教育ビジョン」において、「6.全体構想」を具現化する「教育施策」を具体的に示し、教育大綱と教育ビジョンの一体化を強化していきたい。

市長)

事務局より松阪市教育大綱の策定について説明がありました。
この件について、何かご意見やご質問はございませんか。

<委員からの意見等なし>

市長)

最終案なので、この案でご了承いただけたらと思います。よろしいでしょうか。

委員)

はい。

市長)

それでは、これで大綱の策定とさせていただきます。

市長)

それはそれとして、折角皆さんにこうやって来ていただいたので、感想も含めて一言ずつご意見をいただければと思います。

委員)

今日授業を受けさせていただいて、すごく感心しました。ICTで誤解していたところがありました。個別の学習を最適化するには、非常に有効であるかもしれないけれど、協働的な学習というところは、上手にしないと難しいのではないかと思ったのですが、非常にこなれた授業のやり方を持ってみえた。ある意味勉強が苦手で人の影に隠れていた子を見つけ出して、それを支援していく体制が非常に取りやすい。上手に使えば教育革命につながると思いました。

もう一点が、飯南という地域に20数年住んでいたこともあり、過疎化で今後厳しいというところもあるが、地域間格差をICT教育でより持ち上げて、格差がないようにということもできるような展望が見ることができて、今日は非常に勉強になりました。

委員)

GIGAスクールですが、すばらしいですね。機械に慣れるのは子どもは早いので、ぜんぜん心配はいらぬ。2~3年先の学力の結果を早く知りたいと思う。

教育大綱については、すばらしく文句のつけようもないが、グローバルな子どもが育

って欲しいというのがあるので、そこに力を入れて欲しいと思っています。

委員)

GIGA スクールで、松阪の場合は三雲中学校をはじめ先行的にやっていて、ある程度結果が出ていると思います。学力の向上に結びついたかどうかは検証をしようと思えば既にできると思うので、一度何かをお示しいただければ良いかと思う。あまり学力だけでなく、人間性や知識、教養など子どもたちのそういった面を伸ばしていく。それが数字で出るかという出にくい部分もあるので、その辺の判断を専門家の方に将来やっていただけたらと思います。

委員)

キックオフも見させていただいて、子どもたちが最初にもらったタブレットに、一人ずつ名前が入っていたのを配られた時の子どもの顔がすごく、保護者としても有難かった。いろいろ思うところもあるけれど、今回これをできる先生たちがうらやましいと思います。自分が就職する前や子どもの頃は教師になりたいと思っていたけれど、働いて、看護学校で教員をさせてもらった経験から、今この状況でこういうことができる先生は楽しいだろうと思います。それを使って勉強できる子どもたちも楽しいだろうと思って聞かせてもらいました。

あとひとつは、今子どもたちはスマホやタブレットをいっぱい持って使っていますが、おもちゃ感覚で入った子どもたちです。タブレットの正しい使い方を、こういう世界が広がるということを教えてあげて欲しい。今の小学生から始まった子どもたちは、タブレットの本当の使い方を先生がしっかり教えてあげたら、もしかしたらスマホとかもっと上手に使えるのではないか。その辺は教え方次第と思いました。私は金沢に行かせてもらい、県外、市外の GIGA スクールのレベルが松阪と全然違ったということを目の当たりに見てきたので、更に上をめざして進んでいったら素晴らしいと思います。一人ひとり個性を大切に、使ってもらえたらと思います。使い慣れたら先生の時間外も減るのではないか。アンケートの集計とかタイムリーにできていくので、使えば先生たちの時間もうまく調整できて良いものになるのではないか。頑張っ欲しいと思います。

教育長)

今日はありがとうございました。GIGA スクール構想をはじめ、経済格差が教育格差につながらないと、市長がおっしゃられた部分について、一番大きいのかなと思います。様々な経済格差が教育格差となって表れてくる中で、これを導入することによって、塾に行っている子が、家庭で使うことによって塾に行かなくてよくなったり、そのような経済格差が子どもたちの教育に与える影響がなくなっていく。また、個別最適化であったり、松阪で学んだことが良かった、自分の子どもにも松阪で教育を受けさせたいと思えるような、言動力のひとつになるのではないかと思います。また、今回の GIGA スクールは、確かにうちは一歩前にいる現状ですが、やっぱり市だけでやっても前に進

みませんので、いろいろな企業、大学とか様々な知見を集めて、松阪らしさを5年後に松阪のモデルであったのだとなるように、また、5年後には経済的な部分、費用対効果も含めてきちんと結果が出せるように進めていきたいと思います。2月3日には、市長にもご挨拶いただきますが、全国を対象にした説明会があり、今60を超える企業や市町村が参加申し込みをいただいています。最終的には100ぐらいいくのかなと思っています。しっかり進めていきたいと思います。

また、最後の教育大綱は、より具現化するために教育ビジョンを策定しています。しっかりとこの想いとか、願いをより一歩確実に進められる教育ビジョンを策定していきたいと思いますので、いろいろご意見をいただければと思います。松阪の子どもたちが、松阪で学んで良かった、もう一度松阪で教育を受けさせたいと思えるような部分をしっかりと作ってきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

市長)

最後に事務局、何か連絡事項があれば。

事務局)

次回の開催について事務局よりお知らせします。

次年度も引き続き開催を予定しておりますが、開催日については現在未定でございます。開催日が決まりましたら、おってご連絡をさせていただきます。

本日は協議順に変更があり、申し訳ありませんでした。事務局からは以上でございます。

市長)

それでは、これをもちまして第3回松阪市総合教育会議を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

《16時55分 終了》